

Minami-Alps Basic Environment Plan

南アルプス市環境基本計画 ダイジェスト版

2011-2020



Minami-Alps City

南アルプス市



南アルプス市環境基本計画について

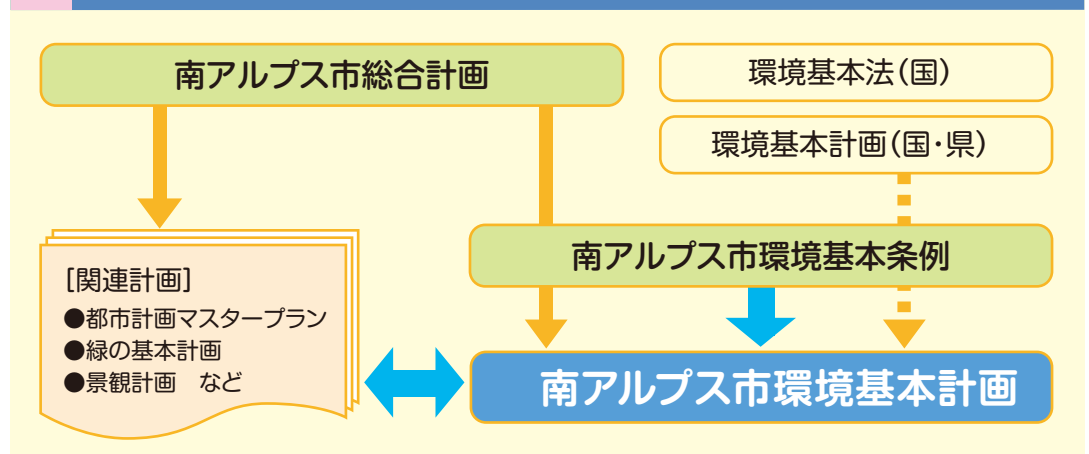
この環境基本計画は、「南アルプス市環境基本条例」に基づき、住みやすく自然豊かな地域づくりのために策定するものです。

地域環境あるいは地球環境の保全のため、豊かな環境を将来世代に引き継ぐため、みんなと一緒に行動しましょう。

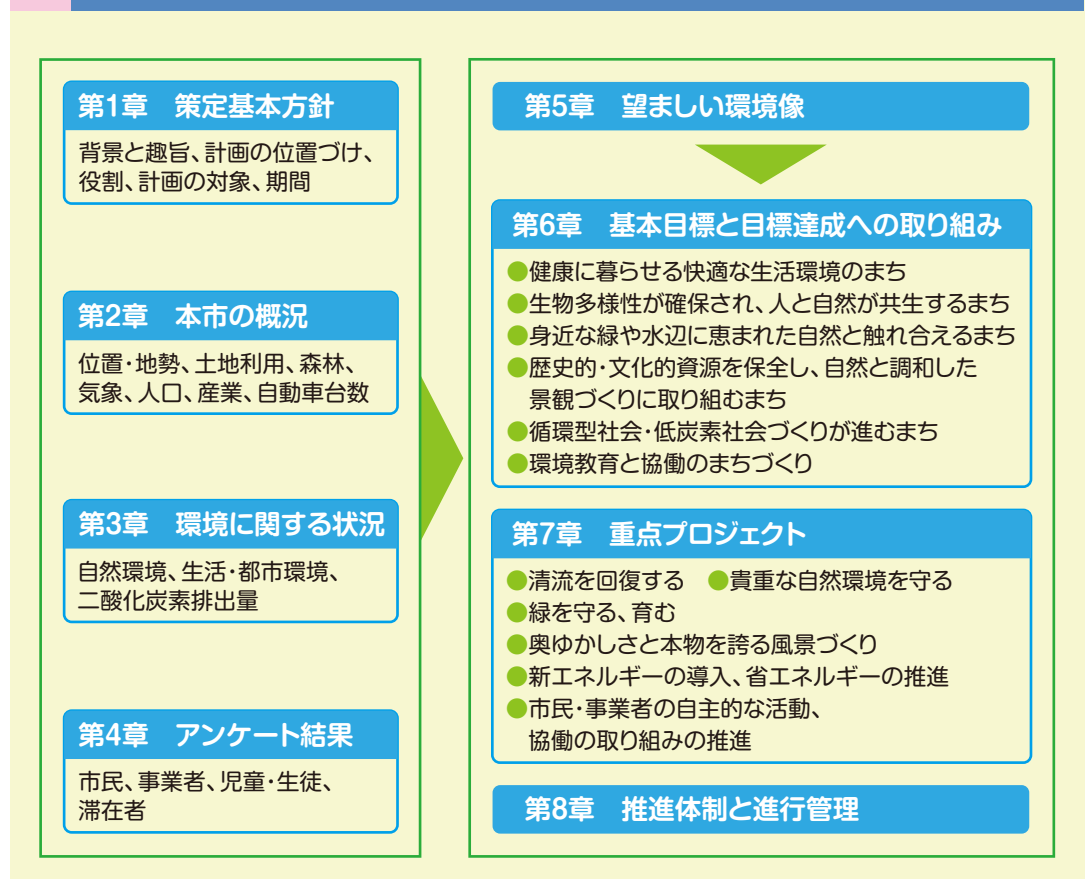
策定 平成22年11月

計画の期間 平成23年度～平成32年度

環境基本計画の位置づけ



環境基本計画の構成



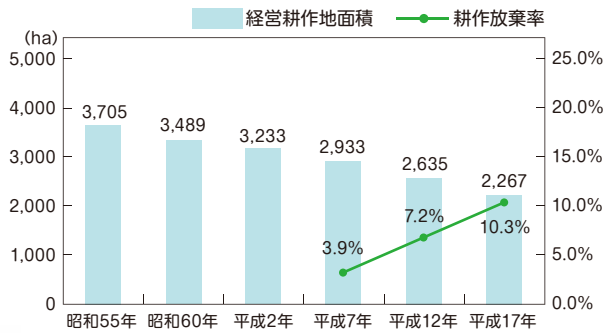


南アルプス市の課題

自然豊かな南アルプス市ですが、耕作放棄地の増加、生活排水の処理率の低迷、あるいは意外に少ない市街地の緑などの課題もあります。

また、地球温暖化の影響か、本市の象徴である南アルプスの山々でも生態系の異変が報告されています。

農地の状況



生活排水処理の状況

単位: 人 (各処理施設の使用人口)

	本市	県
総人口	72,931	867,122
下水道	26,663	510,408
農業集落排水処理施設	377	16,673
浄化槽	12,504	114,425
コミュニティプラント	1,106	7,280
小規模集合排水処理施設	-	56
衛生処理人口	40,650	648,842
生活排水クリーン処理率	55.7%	74.8%

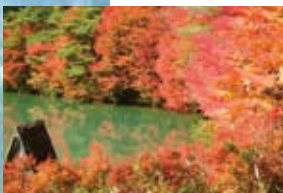


望ましい環境像 こんなまちにしていきたいと思います



健康に暮らせる快適な生活環境のまち

- 多くの河川でサワガニなどのきれいな水に棲む生物が見られる。
- 大気汚染、水質汚濁などが少なくなっている。
- 街路樹が豊かに茂り、市民が心地よく散策できる場所が増えている。
- ポイ捨てや不法投棄が少なくなっている。



生物多様性が確保され、人と自然が共生するまち

- 南アルプスではお花畑が登山者の目を潤わせている。
- 森は広葉樹を優占種とする自然林に置き換わりつつある。
- 街路樹や屋敷林などの緑が繋がり、ネットワークをつくっている。
- 学校では持続発展教育が展開されている。



身近な緑や水辺に恵まれた自然と触れ合えるまち

- 公園や広場の整備が進んでいる。
- 優良農地は保全され、休耕地は花畑などとして活用され、季節の変化とともに市民の目を楽しませている。
- 河川などの親水空間は水遊びをする親子でにぎわっている。
- 生垣の設置などに取り組む市民が増え、目に入る緑の量が増えている。



歴史的・文化的資源を保全し、自然と調和した景観づくりに取り組むまち

- 市内の遺跡は郷土の歴史を学ぶ場所として小中学生を始め大人まで幅広く利用されている。
- 台地に広がる棚田は、集落などとともに懐かしい里山景観をつくり出している。
- 農地、集落、山岳が織りなす心穏む風景を見せる場所が増えている。



循環型社会、低炭素社会づくりが進むまち

- 市内での移動手段は、公共交通やカーシェアリング*、自転車にシフトしている。
- 太陽光発電や太陽熱利用機器、小水力発電設備などが多く導入されている。
- 公共施設はもとより、住宅や事業所でも高断熱化、省エネ化が進んでいる。
- 農業用ビニールハウスでは、果樹剪定枝を使ったボイラーが利用されている。
- リユースやリサイクルが進み、ゴミ排出量は激減している。

*カーシェアリング：複数の人たちが特定の自動車を共同使用するサービスないしはシステム。

注意：ここに記述されている環境像については、実現可能性や実現方法はあまり考慮されていません。なるべく理想的な姿を具体的に記述し、そのイメージを共有することで、それぞれの役割や取り組みの方向、何をいつまでにどの程度達成すべきかを明確にすることを目的に作成されたものです。